

## 2018年度第3回CTK放送番組審議会 議事録

2019年3月27日

10:00～12:00

ケーブルテレビ可児 会議室

### 【出席委員】

委員長 松浦 國弘 (愛知学院大学名誉教授)  
副委員長 浦野 恭子 (可児市子育てピアサポーター)  
委員 伊藤 佳林 (可児市 NPO 協会)  
佐賀 亮彦 (佐賀石材株式会社)  
橋本 和彦 (可児青年会議所直前理事長)  
渡邊 ちえ (可児市市長公室広報課かにぐらし発信係)

(敬称略、五十音順)

### 【CTK】

谷口 公一 (代表取締役社長)  
山下伸一郎 (取締役 メディアサービス部長)  
尾石美智代 (メディアサービス部 担当部長)  
長尾 武彦 (メディアサービス部メディア1グループ長)  
丹羽 俊一 (メディアサービス部 メディア2グループ) (記録係)

## 1. 開 会

事務局：2018年度第3回放送番組審議会を始めさせていただきます。

## 2. 挨拶

谷口社長：この時期は新年度を迎えるシーズンですが、特に来年度は新元号が決まるとのことで気持ちを新たに精進していきます。

メディアサービス部では若手が活躍しており、本日審議していただく番組もいくつかは若手がディレクターをしています。

新しい若い力を番組作りに生かしていると思います。

### 3. 議事

#### (1) 視聴番組についてのご意見・ご感想

① CTK フラッシュニュース 生中継

「緑自治会クリスマスイルミネーション」

放送日 2018年12月21日(金)

② CTK フラッシュニュース 特集

「可児市出身のラクロス選手」

放送日 2019年1月31日(木)

③ CTK フラッシュニュース 特集

「可児商工会議所青年部 直径7mの巨大鍋でイベント開催」

放送日 2019年2月1日(金)

④ 特別番組「中学校卒業式スペシャル2019」

【CTKフラッシュニュース生中継】

「緑自治会クリスマスイルミネーション」

**委員長：**1つ目の緑自治会クリスマスイルミネーションから感想をお願いします。

**委員：**子どもの賑わいはいいが、イルミネーションがよく見えないことが気になりました。映像で見るよりも広場はもっと広いので、例えば下からのアングルで高さが分かるように撮影したら良いと感じました。あとはアーチをくぐる時に映像が平たく見えてアーチの感じが出ていないのでくぐり方を工夫したほうが良いと思います。子どもたちに関しては、ホームビデオではないのもう少し扱い方を考えたほうが良いと思います。

**委員：**最初の子どもたちの賑わい方が気になりましたが、ケーブルテレビなので許容範囲なのかなと思いながら見ていました。番組が始まる場面が暗い感じだったので、リポーターがイルミネーションの場所から始めたほうが良いと思います。イルミネーションが寂しく映ってしまった印象です。

**委員：**生放送だから分かりませんが、手ブレがひどくてずっと見ていただけませんでした。この感じの映像で13分は長いと感じましたし、ホームビデオのような感じになっ

てしまっていると思いました。至近距離で撮影しているため全体が見えないです。行ったことが無い人はどんな感じが分からないと思います。ある程度シナリオはあったと思いますが、もう少し見栄えの良い作りになれたら良かったと思います。

**委員：**子どもたちが元気なのはいいが、私は自治会の人たちが地域の人たちとの繋がりをつくるためにイルミネーションを行っていることを、もっとクローズアップしてほしいかったです。子どもたちの賑わいで邪魔されてしまった。イルミネーションを作っている工程やミーティングを行っている様子の映像プラス生放送でも良かったのではないかと思います。

**事務局：**このあと見ていただく映像は作りこんだ特集で、地域の事を知っていただくような構成ですが、この生中継はライブ感を大事にしています。今までは生放送となると特番のような形でしか放送してこなかったのですが、ニュースの枠を使って地域にどんどん出かけて、ライブ感をもって情報を届けたいという思いで今回の生中継を行いました。子どもたちの賑わいは想定できましたが最低限の人数で中継しましたので対応に限界がありました。

**委員：**何人で撮影したのですか？

**事務局：**3人です。カメラマンとリポーターとディレクターです。通常の生放送では考えられないレベルですが、作りこみを控えて生感を楽しんで地元の様子をみていただくと考えました。

**委員：**あとは自治会の人たちのインタビューの時に暗かったのでライトを持っていくとか、明るいところでインタビューしたほうがよかったです。

**事務局：**ライトも持って行って、リハーサルも行いました。リハーサルのときは人の集まりが少なかったのですが、本番は人も集まってきて、リハーサル通りに撮影できないという事がありました。今後改善の余地が大いにあるという事は社内でも話しています。

**委員：**生放送ということもあって、リポーターのスキル、アドリブ対応力がかなり要求される。リポーターが困ってしまうと見ている側は引いてしまう。チャンネルを変えたくなくなってしまった部分がありました。その辺はリポーターの質を上げるのは難しいかもしれませんが、求められる部分になると思うので人選が大事だと思いました。あとは皆さんと同じ意見です。

## 【CTKフラッシュニュース特集】

### 「可児市出身のラクロス選手」

**委員長：**それでは2つ目の可児市出身のラクロス選手の映像の感想をお願いします。

**委員：**しっかり作ってあり、上手くまとまっていたと思います。私はラクロスをほとんど知らないのですが、説明もきちんとありイメージが出来ました。他にも色んなスポーツを取り上げてもらいたいです。また、スポーツに限らず、音楽や美術なども取り上げてほしいと思いました。後は子どもが見たら良いと感じました。小さいころから積み重ねてきたものでなくても、大学から始めてもチャンスはあるという事を教えてくれる番組でした。地元の人をピックアップして未来につながるような、先の事を考えられるような番組がケーブルテレビならではだと思いました。一つ気になったのは、名前の字幕と話す言葉の字幕の字体が同じで見づらかったので、字体は分けたほうが良いと感じました。

**委員：**すごく面白かったです。

**委員：**きっちりと作られていると感じました。ラクロスを始める前にサッカーをずっとやっていたという事ですが、その幼少期がどんな様子だったのか掘り下げると面白いと思いました。ラクロスに関してしっかりと説明がされていましたが、ポジションの紹介があればもっと分かりやすいと思いました。

**委員：**字幕もついていて読み易く、特集らしい特集だと思います。可児市出身の人をクロージアアップしているので地元のニュースならでは良かったです。こういう人がどんどん可児市から出てくれると良いと感じました。

**委員：**スポーツ選手を特集するのは好きなので、のめり込んで見ていましたが、ポジションの具体的な説明があるとスポーツ好きには良いと思いました。あとは、本人から提供してもらった映像はありましたが画質が悪いので、プロが撮影した試合の映像も見たいと思いました。

**委員長：**ラクロスという競技が何人で行うのか説明が無かったので、あると良かったと思います。

## 【CTKフラッシュニュース特集】

### 「可児商工会議所青年部 直径7mの巨大鍋でイベント開催」

**委員長：**それでは次に巨大鍋のイベント映像の感想をお願いします。

**委員：**面白かったです。継続して特集を続けていくと良いと思います。そうすれば色々な成長も分かるし、地域との交わり方や人材も今後変わってくると思いますから。色々なものをたくさん追いかけるのも大事だと思いますが、このイベントは地元でずっと根付きそうなので、継続して取材を続けていく事も大切だと思います。市外に出ている人たちが地元に戻ってきた時に、地域に貢献したいと思う人が生まれるきっかけになると思います。

**委員：**番組はとても面白いと思いました。気になったのは、巨大鍋だと取り分けにくいからか、小さい鍋に移してから取り分ける様子が映っていたことです。巨大鍋と言っているのに小さい鍋で作っていると思う人もいるかもしれないので、小さい鍋で取り分けている場面は映さなくてもいいと思います。子どもたちに白菜を配る場面が急に出てきたので、説明があったほうが良いと感じました。

**委員：**インタビューで話している人の言葉が聞き取りにくい時があったので、字幕があると分かりやすいと思いました。

**委員：**大きな鍋のフタを開けて湯気が一面に広がるシーンはとても良い映像でした。市民の一人ひとりに声をかけていて、地域との繋がりが出ているような番組で良かったです。白菜を収穫する場面など、鍋の話だけでなく他の観点からみて特集が出来たのではないかと思います。後は字幕があると分かりやすかったです。

**委員：**イベントを主催している人たちにスポットを当てて大人が楽しそうにやっている感じを出すと、見ている事業者の人たちも参加したいと思うのではないかと感じました。そのような演出があっても良いと思いました。

**事務局：**白菜の栽培の様子に関しては、可児市の広報番組「いきいきマイタウン」で取り上げています。また、主催側にスポットを当てる事につきましては、制作するスタッフがどういう所にスポットを当てるか人それぞれ考えています。色々な作り方をこれからも考えていきたいと思っています。

## 【特別番組】

### 「中学校卒業式スペシャル2019」

**委員長：**それでは次は中学生の卒業式番組の感想をお願いします。

**委員：**私の仕事柄、関わる中学生がたくさんいるが、全員の卒業式に行けないので、番組を通して見る事が出来ました。他の方たちとは視点が違いますが私はそのような活用をしました。有意義な番組でした。

**委員：**規制が厳しく子どもの撮影が難しいなかでもキレイに撮影されている映像が多かったと思いました。同級生で他の学校に行った友達も見ると、子供たちにとっても見やすい番組かなと思いました。

**委員：**中学生ごとに制約があると思いますが、本人や親御さんが見ると思いますが、できる限り満遍なくみんなが映るような仕上がりになると良いと思いました。

**委員：**とても見やすい番組だったと思います。可児市と御嵩町の全中学校を放送されていたので、とても良かったと思います。

**委員：**卒業式の雰囲気が出ていたので良かったと思います。

**委員長：**私たちの時代とは違って今は一人ずつ卒業証書を渡すなど、一人ひとりを大事にしていると感じました。

## (2) 2019年度の12ch番組編成について

**委員長：**2019年度の12ch番組編成について説明をお願いします。

**事務局：**編成を一部変更します。ここ数年では大きな編成の変更になります。今までは平日と土日で違う編成になっていました。番組としては週替わりで放送する番組と月曜日から金曜日に毎日放送しているCTKフラッシュニュースという番組がありました。これを4月から平日と土日の区別が無い1週間を通した編成に変えます。視聴者から、番組の時間が平日と土日が違って分かりにくいという声にお応えしてスッキリした編成に変更しました。

それから近隣のケーブルテレビ局や東海地域のケーブルテレビが制作した番組も放送しているのですが、その番組についても一部見直しを行いました。滝の景色を

放送する「滝景」、東海地区の子どもたちのダンスの番組「キッズダンス TV」が終了になりました。そして新たに初心者向けアウトドアの番組「ハレソラ」を放送します。

**事務局：**次に4月から始まる新番組「かにみた！」について説明させていただきます。

12chを今まで以上に多くの人たちに見てもらうため番組改編を行いました。大きな考え方としては2つあります。1つ目は、地域に飛び出して行って触れ合う機会を増やすということ、2つ目は今まで番組1つ1つを放送していましたが、「かにみた！」の中に集約した構成にすることにより、番組のPRも行いやすくなり、視聴者にとっても、見ていただきやすくなると思っています。放送時間ですが、90分という枠にしました。そして今までは土曜日更新でしたが水曜日の夕方に変更しました。理由としては土日に行われるイベントが多いため、そのようなイベントを早く紹介しフレッシュな番組にしたいと考えています。

**委員長：**今のところご質問はありますか？

**委員：**かにみた！の中のコーナーに「高校ガチ訪問」とありますが、地域のクラブチームは対象になりませんか？

**事務局：**今のところ、高校の部活動のみで考えています。

**委員：**可児市ではバレーボールに接する機会が少なく競技人口が減っています。可茂地区にはバレーボールのクラブがあり、そういった光が当たらないところに光を当ててくれるのがケーブルテレビだと思います。

**事務局：**他にもグループに入ってもらえるメンバー募集などのコーナーも設けようと考えていますので、そういった番組で検討させていただきます。

### (3) 2019年度の11ch番組編成について

**委員長：**次に2019年度の11ch番組編成について説明をお願いします。

**事務局：**11chですが、普段の時間帯は4分割の画面で可児市内にある定点カメラの映像を放送しています。月曜日から木曜日までは午前11時から午後1時まで、金曜日だけ正午から午後1時まで、FMららの「ハロー！ライン」という番組を4分割画面のうち下の2画面を使ってケーブルテレビ可児本社1階にあるFMららのスタ

ジオの様子を映しています。もともと11chの音声はFMからの音声を流していましたが、このハロー！ラインについてはスタジオの様子もテレビで楽しんでいただくということで生放送しています。

4月1日からはお昼の「ハロー！ライン」の他に、朝の「モーニングライン」、夕方の「ティータイムライン」についてもスタジオの様子を生放送します。モーニングラインにつきましては1階スタジオを使用する月、水、木曜日のみ放送します。また、月に2、3回ほどケーブルテレビ可児の制作スタッフが番組告知で生出演しています。

#### (4) そのほか11ch・12chの番組について

**委員長**：本日視聴した番組以外の事でご意見はありますか？

**委員長**：無いようなので次にいきます。

#### 4. 報告事項

**委員長**：報告事項をお願いします。

**事務局**：去年12月の放送番組審議会から本日までの間に、国に報告が必要な大きな放送事故はありませんでした。

**委員長**：これで本日の放送番組審議会を終了します。

**事務局**：本日はご出席いただきありがとうございました。

以上